

(別紙4(2))

事業所名 : グループホーム ふれあい

作成日 : 令和 5 年 5 月 11 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価、及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題の焦点化が難しくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点・課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	9	ハラスメント防止についての指針の整備や就業規則への記載、体制づくり等の取り組みができていない。	ハラスメント防止の指針の整備を行う。	就業規則に方針や定義・相談窓口等追記し、職員に周知する。	12 か月
2	21	服薬事故(飲み忘れ)が多く、再発防止の為共有しても飲み忘れの事故がある。マニュアルの見直しができている。	服薬事故(特に飲み忘れ)がないようにする。	マニュアルの見直しを行い、具体的な手順書が見える化する。また、服薬についての研修会も年間計画に入れる。入居者様が服用している内服状況も、全職員が把握できるように、内服一覧を作成し、統一する。	6 か月
3	23	浴室に洗剤を置いており、入居者様が触る危険性が高い。	入居者様の生活空間には洗剤等置かず、安全・安心して生活を送れる環境を作る。	認知症を全職員が理解し、危険なもの(洗剤等)は手の届かない場所に置く。	1 か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目の番号を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。